

## 施策1：地域におけるスポーツ推進

## (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-1		実施主体	子育て支援課子育て推進課 スポーツ振興課		
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進					
事業名	幼児期の運動遊び啓発事業					
取り組み内容	講座や刊行物の発行等、保護者に対する運動の重要性や取り組み方法の啓発について検討、実施する。					
事業目標	指標	啓発活動の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	実施					
実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	
2018年度の具体的な取り組み内容	<p>&lt;公立保育園&gt; ・ほけんのポスター掲示、園での取り組みを保護者におたより、掲示版、行事等で発信した。</p> <p>&lt;地域子育て相談センター&gt; ・子育てひろばの中で、利用者に対し、体操や運動遊びの紹介、戸外遊びの推進等を行なった。</p> <p>・マイ保育園登録者への情報誌や、相談センターで発行しているおたより等で「親子のふれあいを通した運動遊び」「身体づくり」等のコメントを掲載した。</p>					

## 施策1：地域におけるスポーツ推進

## (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-2		実施主体	指定管理者		
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進					
事業名	指定管理者による幼児スポーツ教室事業					
取り組み内容	<p>幼児を対象とした教室を開催し、教室参加者を増やす。</p> <p>・総合体育館：ちびっ子体操教室(4歳児対象)、わんぱく体操教室(5～6歳児対象)</p> <p>・サン町田旭体育館：ちびっ子体操教室(4歳児対象)、わんぱく体操教室(5～6歳児対象)</p> <p>・室内プール：幼児スクール※自主事業</p> <p>・成瀬クリーンセンターテニスコート：キンダークラス(4～6歳児対象)※自主事業等</p>					
事業目標	指標	教室参加者数	計画初期値	4,670名		
			目標水準	5,170名		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	4,770名	4,870名	4,970名	5,070名	5,170名	
実施状況	5,979名	7,016名	9,185名	8,698名	6,603名	
2018年度の具体的な取り組み内容	<p>○総合体育館 ・4歳から就学前の幼児を対象とした事業を定期的に実施した。(延参加者数3,129名)</p> <p>○成瀬クリーンセンターテニスコート ・テニススクールでキンダークラスを実施した。(延参加者数144名)</p> <p>・4～6歳児を対象とした夏休み早朝ジュニアレッスンを実施した。(参加者数43名)</p> <p>○緑ヶ丘グラウンド ・年長(5～6歳)を対象とした親子キッズサッカー教室を実施した。(参加者数250名)</p> <p>○室内プール ・幼児スクールを年間5ターム・週4回実施した。(延参加者数1,326名) ※9月より長期休館入った為、開催数が減少した。</p> <p>○サン町田旭体育館 ・4歳～就学前の幼児を対象とした体操教室を3期にわたり実施した。(延参加者数1,711名)</p> <p>○陸上競技場 ・2014年度より毎年開催している『野津田公園お楽しみファミリー駅伝』では、参加条件を基本的に小学生の兄弟と保護者としているが、『町田市子どもマラソン大会』への参加のきっかけ作りとして、未就学児の参加を可とした。</p>					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-3		実施主体	子育て支援課 子育て推進課	
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進				
事業名	乳幼児及び子育て家庭への身体づくりの推進				
取り組み内容	A: 乳幼児及び保護者を対象に、ボランティアや大学生、ホームタウンチームによる身体活動の指導や交流を行う。 B: 市立保育園の保育士を対象に、身体づくり・体育遊びに関する研修を行う。				
事業目標	指標	啓発活動の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
			計画作成	A: 年5回 B: 年5回	A: 年5回 B: 年5回
実施状況	A: 年38回 B: 年5回	A: 年22回 B: 年5回	A: 年9回 B: 年5回	A: 年11回 B: 年5回	A: 年14回 B: 年5回
2018年度の具体的な取り組み内容	A: 保育園児を対象としたホームタウンチームによるサッカー教室やボランティアによる運動活動プール指導を通して、身体活動の指導や交流を行った。 (町田ゼルビアサッカー教室: 9回実施、ペスカドーラ町田フットサル教室: 3回実施) 地域のボランティアに講師を依頼し、子育てひろばでの親子リトミック、産後ヨガを実施した。 B: 全体研修(1回)、園内研修(4回)を行った。				

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-4		実施主体	児童青少年課	
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進				
事業名	幼児・親子向けプログラム(フィットネス、レクリエーション)				
取り組み内容	当事業は、利便性が高く、日ごろから多くの子どもや親子の利用がある子どもセンターにて実施する。 市内の子どもセンターで、幼児とその保護者を対象とした身体を動かすプログラム(フィットネス、レクリエーション)を定期的実施する。				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
			実施		
実施状況	実施	実施	実施	実施	実施
2018年度の具体的な取り組み内容	各センターで0歳から就学前の乳幼児親子を対象とした事業を定期的実施した。 <子どもセンターただON> (親子であそぼON年間31回、産後ママ親子ピクス年2回、パパと幼児親子体操年2回、パパと遊ぼう! 年1回、産後ママのソフトヨガ年1回、忠生公園で遊ぼう! 年1回) <子どもセンターばお> (ばわばふたいむ年間35回、ばわばふたいむIN小山年間8回、パパとピクニック年1回、パパと遊ぼう! 年1回) <子どもセンターばお分館わーお> (ベビーマッサージ年間11回、親子ヨガ年間4回、バランスボール年間7回) <子どもセンターばあん> (ばあんキッズ(年間36回、ばあんキッズIN成瀬年間6回) <子どもセンターまあち> (まちびよんキッズ年間34回・対象0歳~就学前までの乳幼児親子、サタデーキッズ年間10回程度、レッツエクササイズ年間6回、みんなあつまれ! レッツダンス♪親子ダンス年2回、ペビトレヨガ年2回) <子どもセンターつるっこ> (ふあんふあんたいむ年間21回、ぽっぷんIN三輪年間11回、すくすくたいむ年間18回、産後ヨガ年間10回、ワクワクぽっぷん年間1回)				

施策1：地域におけるスポーツ推進

(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-5		実施主体	児童青少年課		
推進施策	子ども居場所づくりと連携した身体活動の推進					
事業名	スポーツを通じた世代間交流事業					
取り組み内容	<p>当事業は、小学生から高校生までが集える「子どもセンター」及び小学生の放課後の遊び場見守り事業「まちとも」の活動場所にて実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生が、小・中学生にスポーツの指導をする機会を設ける。</li> <li>・地域スポーツクラブによるスポーツ教室と連携し、小・中学生がスポーツを体験する機会を設ける。</li> </ul>					
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	企画	実施			→	
実施状況	企画	企画実施	実施	実施	実施	
2018年度の具体的な取り組み内容	<p>各センターで小学生から18歳を対象とした事業を定期的に実施した。</p> <p>&lt;子どもセンターただON&gt; (ドッチボールタイム 年間18回程度、出前ラグビー教室年1回、バスケ大会年1回)</p> <p>&lt;子どもセンターぱお&gt; (出前ラグビー教室年1回、スポーツFUNDAY年1回、ぱおバス年間12回、ぱおサル年間12回)</p> <p>&lt;子どもセンターぱあん&gt; (ダンス教室年間2回)</p> <p>&lt;子どもセンターまあち&gt; (スポーツフェスティバル年間12回程度、出前ラグビー教室年1回、みんなあつまれ！レッツダンストキッズダンス年1回)</p> <p>&lt;子どもセンターつるっこ&gt; (出前ラグビー教室年1回、子ども委員会企画・あ～そぼっ！年間24回程度、ユニカール体験年1回、たまてばことあそぼっ 年間12回程度、鶴見川チャレンジハイク年1回、町田一周チャレンジハイク年1回)</p>					

施策1：地域におけるスポーツ推進

(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-6		実施主体	指導課		
推進施策	学齢期のスポーツの推進					
事業名	学校教育へのスポーツ指導員の活用事業					
取り組み内容	<p>スポーツ指導員登録制度を利用し、小・中学校のクラブ活動・部活動における各種スポーツの指導者や体育の指導補助者として、スポーツ指導員を学校に派遣する。</p>					
事業目標	指標	スポーツ指導員登録制度の活用	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	—	検討	実施		→	
実施状況	—	—				
2018年度の具体的な取り組み内容	<p>スポーツ指導員登録制度の確立に至らなかったため、実施計画が先送りとなっている。</p>					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-7		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ		
推進施策	学齢期のスポーツの推進					
事業名	食育推進事業					
取り組み内容	栄養学講義や調理実習、就農体験等の食に関するイベント、教室、スポーツ団体の行う事業に対し、支援を行う。					
事業目標	指標	教室・イベント等の実施数	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	年1回	→	年2回	→	年3回	
実施状況	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	
2018年度の具体的な取り組み内容	東京都市長会の多摩・島嶼スポーツ振興事業助成金を活用し、地域スポーツクラブであるNPO法人アスレチッククラブ町田(町田ゼルビアスポーツクラブ)による出前スポーツ教室(スポーツ栄養学講座2回含む)を実施した。					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-8		実施主体	町田市こどもマラソン大会実行委員会		
推進施策	学齢期のスポーツの推進					
事業名	町田市こどもマラソン大会					
取り組み内容	児童を対象に、陸上競技場でマラソン大会を行う。					
事業目標	指標	大会参加人数	計画初期値	1,570人		
			目標水準	2,200人		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	1,850人	1,900人	2,000人	2,100人	2,200人	
実施状況	1,893人	2,058人	2,227人	2,188人	2,124人	
2018年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の募集のため、市内の私立を含む全小学校、市民センター、子どもセンター、体育施設、運動施設等にパンフレットの配布を行い、各小学校から児童に対する参加の働きかけを行った。</li> <li>・大会開催当日は、大会の魅力向上のため、大型映像装置にトップアスリートからの応援メッセージ動画を上映した。</li> </ul>					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-9		実施主体	保健企画課 保健予防課	
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康づくり推進事業				
取り組み内容	健康づくり推進員研修において、正しい歩き方や靴の選び方などウォーキングに関する研修を実施する。				
事業目標	指標	スポーツに関連する研修の実施回	計画初期値 目標水準	年1回 年1回	
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施計画	年1回			見直し 実施	
実施状況	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回
2018年度の具体的な取り組み内容	ウォーキング等の運動をするにあたって重要となる「足腰を鍛える」、「筋力をつける」について、外部講師を招き、研修会を実施した。				

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-10		実施主体	健康課 保健予防課	
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	親子栄養講習会				
取り組み内容	講習会を実施する。				
事業目標	指標	講習会実施回数	計画初期値 目標水準	年1回 増加	
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施計画	年1回		見直し 実施		
実施状況	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回
2018年度の具体的な取り組み内容	2017年度から「親子クッキング」に事業名を変更した。スポーツトレーナーによる運動を親子で行った後に、栄養士によるおやつ作りを実施した。子どもと運動することをきっかけに保護者が運動習慣を持つことを目的に実施した結果、事業後のアンケートでは「家でもしてみようと思った」等の意見があり、運動の習慣化のきっかけをつくることができた。				

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-11		実施主体	健康課 健康推進課	
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康教育講座				
取り組み内容	運動に関する講演会を実施する。				
事業目標	指標	講演会実施回数	計画初期値 目標水準	年1回 増加	
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施計画	年1回	→	見直し 実施	→	→
実施状況	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回
2018年度の 具体的な取 組み内容	11月に運動に関する講演会を1回実施した。 日時:2018年11月15日(木)13時~15時30分(運動は14時から15時30分の90分) 場所:健康福祉会館 4階講習室 講師:東京医科大学八王子医療センター糖尿病内分泌代謝内科 理学療法士・健康運動指導士・日本糖尿病療養指導士 天川淑宏氏 講演会名:糖尿病予防講習会~なるほど納得!食べて、動いて、健康ライフ~				

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-12		実施主体	健康課 保健予防課	
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康づくり講習会				
取り組み内容	講習会を実施する。				
事業目標	指標	講演会実施回数	計画初期値 目標水準	年4回 増加	
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施計画	年4回	年2回	見直し 実施	→	→
実施状況	年4回	年2回	年2回	年2回	年2回
2018年度の 具体的な取 組み内容	2日間のコース制で①スポーツトレーナーによる運動、②保健師講話、③栄養士講話、④調理実習を実施した。今年度は事業テーマを「骨と筋肉の健康づくり」として、すべてのプログラムを実施した。運動に関してはリズム運動やヨガを実施したが、事業後のアンケートでは参加者全員が「よかった」と答えた。				

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-13		実施主体	町田市体育協会		
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進					
事業名	講師派遣事業					
取り組み内容	地域で健康づくりに取り組んでいる団体に対してスポーツ実技や食育、心の健康等に関する知識のある講師を派遣する。					
事業目標	指標	講師派遣実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	検討	実施				
実施状況	検討	検討	1箇所交渉	未実施	未実施	
2018年度の具体的な取り組み内容	体育協会は、競技団体ではない地域の団体との接点が少なく、働きかけることが難しいため、制度設計に至らず、事業が先送りとなった。 ※需要の調査や他の自治体の取り組み状況や効果等を時間をかけて検証していく必要がある。					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-14		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者		
推進施策	既存施設の利用時間の延長					
事業名	既存施設の利用時間の延長等					
取り組み内容	・指定管理者が自主事業として行っている利用時間延長等の取り組みを制度化し、継続する。 ・利用時間の延長を検討する。(屋外スポーツ施設については、夜間照明設備整備に合わせて利用時間延長をする必要がある。)					
事業目標	指標	利用時間を変更した施設数	計画初期値	2施設		
			目標水準	増加		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	現在実施している取組の継続 利用時間延長の検討	条例改正(必要に応じて)	施行			
実施状況	現在実施している取組の継続 利用時間延長の検討	実施 検討	実施	実施	実施	
2018年度の具体的な取り組み内容	・条例を改正し制度化することへの影響及び利用時間を延長することの近隣住民への影響について検討した。指定管理施設において、利用時間の延長を制度化することは、管理費用の増加を意味すること。また、夜間や早朝の時間帯を利用することに関しては、近隣住民への説明や理解も必要になるため、実施にあたっては施行のタイミング等、慎重に検討する必要がある。 ○成瀬クリーンセンターテニスコート ・5～8月の夜間照明設備無しコート利用時間延長(午後5時～7時)実施。 ・7～8月の土日祝に早朝時間(午前7～9時)のコート貸出を実施。 ○緑ヶ丘グラウンド ・照明設備がないため、夏季(5月～9月)の17時～19時の利用について、ニーズを把握し、来年度利用時間の延長を検討する。 ○室内プール ・サマータイム営業として、7/21(木)～8/31(水)の期間に午前8時30分に開館。(通常は午前9時開館) ・毎月、最終月曜日は早朝公開(6時より営業)、最終金曜日に延長公開(22時まで営業)を行った。 ○野津田公園 ・1月および2月の利用日が土日祝に限られていた野津田球場の利用日を、2009年度から平日も利用可能日とし制度化しており、2018年度においても平日利用を実施した。					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-15		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	既存施設の利用時間の延長					
事業名	夜間照明施設整備事業					
取り組み内容	小野路球場をはじめとする市内の既存スポーツ施設に、夜間照明設備を整備する。					
事業目標	指標	夜間照明設置箇所数	計画初期値	7箇所		
			目標水準	12箇所		
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討・調整		検討・調整設計	5箇所設置 (計12箇所)	—	—
実施状況	検討・調整		検討・調整一部設計	1箇所設置	1箇所整備 計画策定	2箇所目 地質調査 実施
2018年度の具体的な取り組み内容	2017年度に策定した小山上沼調整池スポーツ施設整備基本計画に基づき、夜間照明設備設置の設計を行うための地質調査を行った。					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-16		実施主体	指定管理者		
推進施策	ファミリースポーツの推進					
事業名	指定管理者による親子スポーツ教室事業					
取り組み内容	親子を対象とした教室を開催し、教室参加者を増やす。					
事業目標	指標	教室参加者数	計画初期値	2,221名		
			目標水準	2,450名		
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	2,250名		2,300名	2,350名	2,400名	2,450名
実施状況	4,758名		4,694名	5,631名	7,405名	7,720名
2018年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合体育館</li> <li>・自立歩行ができるようになった幼児～未就学児とその保護者を対象とした教室を年齢ごとに分けて実施した。(5教室計150回、延参加者数5,883名)</li> <li>○みどり山球場</li> <li>・2月にTボール大会を実施した。(参加者数60名)</li> <li>○緑ヶ丘グラウンド</li> <li>・年長とその保護者を対象とした親子キッズサッカー教室を定期的を実施した。(延参加者数250名)</li> <li>○室内プール</li> <li>・幼児体操教室を開催した。</li> <li>・毎月様々な親子参加のイベントを開催した。</li> <li>○サン町田旭体育館</li> <li>・幼児とその保護者を対象とした体操教室を3期にわたり実施した。(延参加者数976名)</li> <li>○相原中央公園</li> <li>・初心者向けのサッカー教室・テニス教室を開催した。</li> </ul>					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-17		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者		
推進施策	ファミリースポーツの推進					
事業名	スポーツ施設の親子利用促進					
取り組み内容	親子が利用できる施設の提供と周知を行う。					
事業目標	指標	スポーツ施設の親子 利用促進		計画初期値	事業実施	
				目標水準	継続	
実施計画	実施 施設PR方法 の検討	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	
2018年度の 具体的な取 組み内容	○総合体育館 ・教室事業のほか、「まちだ★こどもフェスタ」「トライ・スポーツ！まちだ2019」「まちだスポーツ広場」など、親子がふれあうことのできるプログラムを実施した。 ○みどり山球場 ・1月～2月野球場の外野、芝生部分を親子でキャッチボールをする場として開放した。 ・「Tボール大会」において、親子一緒に野球の楽しさを体感する場を提供した。 ○緑ヶ丘グラウンド ・冬休み期間の空き枠を利用して親子のコミュニティの場としてグラウンドを無料開放した。 ○室内プール ・屋外スペースを「幼児テラス」として、プールを利用できない乳幼児を対象に開放した。(参加者数1,017名) ・無料公開イベント「プール祭り」は長期休館に伴い、今年度は夏季のみ実施した。 ・毎月プールや会議室、ロビーなどで親子で楽しむことのできるイベントを開催した。 ○サン町田旭体育館 野球場の外野、芝生部分を親子などがボール遊びをする場、スポーツを通じてコミュニケーションをとる場として開放した。 ○野津田公園 ・リフレッシュヨガやウォーキング(ジョギング)教室やアクティブ運動教室、キッズ陸上競技教室など様々な世代を対象としたスポーツ教室を開催した。 ○小野路公園 ・冬季期間に球場を無料で開放し、親子が安全に体を動かせ、ボール遊び等が出来る施設を提供した。					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-18		実施主体	地域スポーツクラブ		
推進施策	ファミリースポーツの推進					
事業名	地域一体型ファミリースポーツ推進事業					
取り組み内容	・地域スポーツクラブにおけるファミリー対象イベントを活性化させる。 (例：体験イベント⇒定期イベント) ・エリア内の地域スポーツクラブと町内会自治会が共同で開催するファミリー対象イベント(ウォーキング等の簡単なものから、地域運動会まで)を実施する。					
事業目標	指標	事業の実施		計画初期値	—	
				目標水準	実施	
実施計画	企画・実施	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施状況	企画・実施	企画・実施	企画・実施	企画・実施	企画・実施	
2018年度の 具体的な取 組み内容	11月に小山地区の地域スポーツクラブ「おやまスポーツ・文化倶楽部」が小山・小山ヶ丘地域住民を対象に多種目のスポーツ体験イベントを開催し、約400人が参加した。イベント開催に当たり、小山地区町内会・自治会連合会でイベントを周知した。					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-19		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員	
推進施策	ファミリースポーツの推進				
事業名	スポーツ推進委員による運動機会創出交流事業				
取り組み内容	・ドッチビー、ネオテニス、卓球、バドミントンなど、年齢を問わず誰でも楽しむことができる種目を複数行う。 ・これまで実施してきている「スポーツにチャレンジ」を、児童の親だけでなく祖父母の参加を促すことで、ファミリースポーツの場として広めていく。				
事業目標	指標	事業の実施回数	計画初期値	年3回	
			目標水準	年6回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年5回			年6回	
実施状況	年8回	年6回	年6回	年6回	年5回
2018年度の具体的な取り組み内容	小学生とその保護者を対象とした「スポーツにチャレンジ」事業をサン町田旭体育館で5回実施した。また、学校からの要望により、昨年度に引き続き南第二小学校でドッチビーの講習を実施した。 その他、4校の小学校からの依頼に基づき、ポッチャの講習を行った。				

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-20		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発				
事業名	民間プログラム連携事業				
取り組み内容	民間スポーツクラブと提携し、働く人のライフスタイルに合わせて民間スポーツ施設を利用できる制度(利用助成)を検討し、実施する。				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討			実施	
実施状況	検討	検討	検討	未実施	未実施
2018年度の具体的な取り組み内容	事業の連携先の選定ができず、制度設計に至らなかった。 次期計画策定に向けて、民間事業者との連携のあり方も含めて再検討する必要がある。				

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-21		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発				
事業名	学校温水プールでの教室事業				
取り組み内容	学校温水プールの夜間時間帯や土・日・祝日を中心に、働き盛りの年代を対象にした教室を開催する。				
事業目標	指標	働き盛りの人を対象とした教室の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
		検討	→ 実施		→
実施状況	検討	検討	実施	実施	実施
2018年度の具体的な取り組み内容	各施設において管理業者が参加者に泳法や練習方法を指導するワンポイントレッスンを実施した。施設ごとに利用者ニーズが異なるため、利用者のご意見を聞き、その施設にあったプログラムを展開することで、子育て世代や働き盛り世代の参加者が増加した。				

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-22		実施主体	指定管理者	
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発				
事業名	指定管理者による勤労者スポーツ教室事業				
取り組み内容	夜間時間帯や土・日・祝日を中心に、働き盛りの年代を対象にした教室を開催し、教室参加者を増やす。				
事業目標	指標	働き盛りの人を対象とした教室の実施	計画初期値	2,226名	
			目標水準	2,500名	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
		2,300名	2,350名	2,400名	2,450名
実施状況	5,751名	7,422名	6,623名	8,622名	5,480名
2018年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合体育館                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「勤労者バドミントン教室」「初心者アーチェリー教室」「初心者和弓教室」「まちだフィットネスまつり」「シェイプボディ」「エアロビクス」など勤労者向けの教室を日曜・祝日・夜間に実施した。</li> </ul> </li> <li>○緑ヶ丘グラウンド                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・働き盛りの方を対象として、健康増進事業として、祝日にポールウォーキング教室や体カテストイベントを実施し、今後も継続した教室への参加を促した。(参加者数31名)</li> </ul> </li> <li>○室内プール                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かんたん無料レッスン」の水泳教室を週1回、日中働いている方がより参加のしやすい夜間に実施した。(延参加者合計 136名)</li> <li>・平日仕事で来れない人たちが、多くいる休日に、ゲリラエアロを開催した。</li> <li>・夜間に水中エアロD(無料)を6～7月に週1回開催した。9月より長期休館のため前年より参加者は減少している(延べ参加人数 139名)</li> </ul> </li> <li>○サン町田旭体育館                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労者が通える平日の夜間帯に卓球教室を実施した。延参加者数423名。</li> </ul> </li> <li>○野津田公園                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・2017年度に、夜の公園を活用した12時間耐久の「リレーマラソン」を開催したが、2018年度は、仲間と共にリレー形式で42.195kmを走破し、多くの市民の方々にスポーツをする・見る・支える機会を提供し、こどもから大人まであらゆる世代が体を動かす楽しみや喜びを共有できる「リレーラン」を開催した。(延参加者数350名)</li> </ul> </li> </ul>				

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-23		実施主体	高齢者福祉課		
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成					
事業名	高齢者スポーツ普及事業					
取り組み内容	既存の団体で新たにゲートボール及びグラウンドゴルフの活動を始める者に対し、用具の貸与を行う。					
事業目標	指標	用具貸出件数	計画初期値	6件		
			目標水準	8件		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	6件	→	7件	→	8件	
実施状況	6件	2件	6件	1件	3件	
2018年度の具体的な取り組み内容	3件のグラウンドゴルフ用具の貸出を行なった。 また、町田市ゲートボール協会が主催している、新たにゲートボールを始める方に向けた「初心者教室」の周知を行なった。(計4日間開催、参加者23名)					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-24		実施主体	高齢者福祉課		
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成					
事業名	ロコモティブシンドローム対策事業					
取り組み内容	ロコモティブシンドロームに関する知識や体操の啓発を行う。					
事業目標	指標	講習会参加人数	計画初期値	468人		
			目標水準	500人		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	460人	470人	480人	490人	500人	
実施状況	423人	413人	471人	250人	141人	
2018年度の具体的な取り組み内容	12高齢者支援センターに「ロコモ予防！歩く力測定会」を委託し、6回開催した。測定会は2018年度より各支援センター任意開催とし、介護予防サポーター測定チームと協働して運営し、ロコモ予防の普及啓発を行なった。(2018年度の集計は年度末に確定します)					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
(3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-25		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成					
事業名	スポーツ指導員育成事業					
取り組み内容	官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。					
事業目標	指標	事業の実施		計画初期値	—	
				目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	検討	実施				
実施状況	検討	検討	検討	未実施	未実施	
2018年度の具体的な取り組み内容	制度設計に至らず、事業が先送りとなった。 ※スポーツ指導員の登録・育成・活用について、市内の需要の調査や他の自治体の取り組み状況や効果等を時間をかけて検証していく必要があるため。					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
(3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-26		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員		
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成					
事業名	〔再掲〕スポーツ推進委員による運動機会創出交流事業					
取り組み内容	・ドッチビー、ネオテニス、卓球、バドミントンなど、年齢を問わず誰でも楽しむことができる種目を複数行う。 ・これまで実施してきている「スポーツにチャレンジ」を、児童の親だけでなく祖父母の参加を促すことで、ファミリースポーツの場として広めていく。					
事業目標	指標	事業の実施回数		計画初期値	年3回	
				目標水準	年6回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	年5回			年6回		
実施状況	年8回	年6回	年6回	年6回	年5回	
2018年度の具体的な取り組み内容	小学生とその保護者を対象とした「スポーツにチャレンジ」事業をサン町田旭体育館で5回実施した。また、学校からの要望により、昨年度に引き続き南第二小学校でドッチビーの講習を実施した。 その他、4校の小学校からの依頼に基づき、ポッチャの講習を行った。					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-27		実施主体	障がい福祉課 スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進					
事業名	障がい者スポーツ大会					
取り組み内容	様々な機関と連携を図り、毎年1回、障がい者スポーツ大会を開催する。					
事業目標	指標	事業の継続	計画初期値	年1回		
			目標水準	年1回		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	年1回				→	
実施状況	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	
2018年度の具体的な取り組み内容	11/3に町田市立総合体育館で開催し、約1,000名(市内福祉事業所及び一般参加者等)の参加があった。					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-28		実施主体	障がい福祉課		
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進					
事業名	障がい児スポーツ教室事業					
取り組み内容	年間30回以上を目標に、障がい児スポーツ教室を開催する。					
事業目標	指標	事業の継続	計画初期値	年30回以上		
			目標水準	年30回以上		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	年30回以上				→	
実施状況	年35回	年35回	年36回	年35回	年31回	
2018年度の具体的な取り組み内容	サン町田旭体育館で36回、すみれ会館温水プールで31回の教室を開催した。					

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-29		実施主体	指定管理者	
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障がい者スポーツ教室事業				
取り組み内容	障がいのある方のスポーツに対するニーズを把握し、新たな教室を実施する。 教室の実施に際しては、参加希望の方に対して事前相談を行い、それぞれの実情に応じた指導ができるようにする。				
事業目標	指標	新たな教室の実施	計画初期値	—	
	目標水準		目標水準	実施	
実施計画	2014年度		2015年度		2016年度
	2017年度		2018年度		
実施状況	一部実施	実施	実施	実施	実施
2018年度の具体的な取り組み内容	○総合体育館 ・教室事業のほか、「まちだ★こどもフェスタ」「トライ・スポーツ！まちだ2019」「まちだスポーツ広場」など、親子がふれあうことのできるプログラムを実施した。 ○みどり山球場 ・1月～2月野球場の外野、芝生部分を親子でキャッチボールをする場として開放した。 ・「Tボール大会」において、親子一緒に野球の楽しさを体感する場を提供した。 ○緑ヶ丘グラウンド ・来年度、障がい者サッカー教室やクリケット教室を実施予定。 ○サン町田旭体育館 ・障がい者卓球教室を実施した。延参加者42名。トレーニングルームにおいて、障がいのある方に対し、筋力トレーニングの指導を行っている。車椅子を必要とする方、介助者を必要とする方、脊柱側弯症の方、そういった方へ姿勢改善や日常動作の改善などの指導をマンツーマンで行った。 ○野津田公園 関東パラ陸上競技協会との共催により、今年で開始6年目の実施となるパラ(障がい者)陸上競技教室では、障害のレベルと個人の体力・技術のレベルに合わせ、2018年度に、夏季9回、冬季11回全20回実施した。				

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-30		実施主体	指定管理者	
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障害者スポーツ指導員配置事業				
取り組み内容	市内スポーツ施設に障害者スポーツ指導員を配置する。				
事業目標	指標	スポーツ施設への障害者スポーツ指導員の配置	計画初期値	—	
	目標水準		目標水準	実施	
実施計画	2014年度		2015年度		2016年度
	2017年度		2018年度		
実施状況	調査	一部実施	一部実施	実施	実施
2018年度の具体的な取り組み内容	○総合体育館 障がい者スポーツ指導員の有資格者を6名配置して、トレーニングルームや教室、各種事業を行っている。 ○緑ヶ丘グラウンド ・事業実施担当者が障がい者スポーツ指導員(初級)取得予定。 ○室内プール 初級障害者スポーツ指導員の資格を有する職員を5名配置。 ○サン町田旭体育館 ・職員が初級障がい者スポーツ指導員の資格を取得した。				

施策1：地域におけるスポーツ推進  
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-31		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	〔再掲〕スポーツ指導員育成事業				
取り組み内容	官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施			
実施状況	検討	検討	検討	未実施	未実施
2018年度の具体的な取り組み内容	制度設計に至らず、事業が先送りとなった。 ※スポーツ指導員の登録・育成・活用について、市内の需要の調査や他の自治体の取り組み状況や効果等を時間をかけて検証していく必要があるため。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-1		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】地域スポーツ推進のためのクラブハウス等の整備					
事業名	地域学校開放推進事業					
取り組み内容	既存の学校施設を、地域のスポーツ活動拠点として位置づけ、地域スポーツクラブを設立する。その中で必要に応じて、シャワー・トイレ・更衣室・ミーティングルーム等を備えたクラブハウス機能を整備する。					
事業目標	指標	クラブハウス機能が整備された数		計画初期値	2箇所	
				目標水準	10箇所	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	新規3箇所 (計5箇所)	新規2箇所 (計7箇所)	新規3箇所 (計10箇所)	—	—	
実施状況	1箇所 (計3箇所)		1箇所 (計4箇所)	設計1箇所 (計4箇所)	1箇所 (計5箇所)	整備にむけての検討
	2018年度の具体的な取り組み内容 ・2018年2月に七国山小学校クラブハウスが完成し、2018年度に地域スポーツクラブがクラブハウスを拠点に地域スポーツクラブの活動を始めた。 ・今後は、地域スポーツクラブの設立状況に応じてクラブハウス機能を整備するか検討していく。					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-2		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】地域スポーツ推進のためのクラブハウス等の整備					
事業名	学校施設・備品改善事業					
取り組み内容	・学校施設の修繕や、学校開放に関連する備品の購入をスポーツ振興課で実施できる事務体系を構築する。 ・地域スポーツクラブ整備校を中心に施設修繕や備品購入を実施し、地域のスポーツ活動拠点としてのPRも一体的に図る。					
事業目標	指標	学校施設開放利用登録者数		計画初期値	11,000人	
				目標水準	13,500人	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	11,500人	12,000人	12,500人	13,000人	13,500人	
実施状況	9,700人		9,298人	8,861人	9,421人	9,682人
	2018年度の具体的な取り組み内容 ・地域スポーツクラブに対し、設立または運営に要する経費の一部を補助することによって、備品購入を支援した。 ・学校開放運営委員会に対して破損備品に関する調査を行い、予算の範囲内で順次対応を行った。					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-3		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】ストリート系スポーツの場の整備					
事業名	スケートパーク整備事業					
取り組み内容	第二次野津田公園整備基本計画で予定されているスケートパークの整備に向けて、安全に楽しむためのルールづくりや管理運営の方法について検討する。					
事業目標	指標	スケートパーク整備のための検討	計画初期値	—		
			目標水準	検討		
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討					
実施状況	検討	検討	検討	検討	検討	検討
2018年度の具体的な取り組み内容	第二次野津田公園整備基本計画で予定されているスケートパークの整備に向けて、安全に楽しむためのルールづくりや管理運営の方法について引き続き検討した。					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-4		実施主体	公園緑地課		
推進施策	公園・緑地等の芝生の整備					
事業名	公園・緑地等の芝生整備事業					
取り組み内容	公園・緑地等で芝生の整備が可能な場所を検討し、整備する。					
事業目標	指標	芝生の整備	計画初期値	—		
			目標水準	検討		
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討					
実施状況	検討	検討	基本設計	実施設計完了	整備工事着手	
2018年度の具体的な取り組み内容	・芹ヶ谷公園の拡張区域である都営住宅跡地に芝生広場を設けることとし、整備工事に着手した。					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-5		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出					
事業名	高架下スペースのスポーツ利用					
取り組み内容	小山沼陸橋高架下スペースの一部について、地域と調整し、スポーツ利用できるように整備する。					
事業目標	指標	スポーツ利用のための整備	計画初期値	—		
			目標水準	1箇所		
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討				→	1箇所
実施状況	検討	検討	整備内容決定	設計工事供用開始		工事・1箇所
2018年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが安全にスポーツに親しめる場を提供するため、多摩都市計画道路3・1・6号線(南多摩尾根幹線道路)の高架下に整備された公園「沼中央広場」の一部に健康器具および卓球台の整備を実施した。</li> <li>整備に当たり、地元町内会と入念に打合せを行い、地元と調整を図った。</li> </ul>					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-6		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出					
事業名	法政スポーツ教室事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学と市との協定にもとづき、共催で、在住・在勤・在学者及び大学近隣住民を対象に、初心者から上級者まで参加できるスポーツ教室を開催する。</li> <li>ニーズに合った教室を開催するとともに教室情報を広く市民に普及できるように、大学と協力して方策を検討・実施する。</li> </ul>					
事業目標	指標	延べ参加者数	計画初期値	233人		
			目標水準	250人		
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	240人				→	250人
実施状況	282人	289人	291人	331人		367人
2018年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室情報を広報まちだおよびホームページに掲載し、事業の周知を図った。</li> <li>昨年度から継続して、大学側と参加者の年齢や居住地域等の問題について情報共有し、町田市との連携の進め方について協議を行った。</li> </ul>					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-7		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出				
事業名	東京家政学院大学テニスコート開放事業				
取り組み内容	大学と市との協定にもとづき、大学のテニスコートを大学が使用しない日・時間に限り、大学周辺の相原町・小山町・小山ヶ丘在住の地域住民を中心に、無料で開放する。				
事業目標	指標	年間利用率	計画初期値	47%	
			目標水準	70%	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	50%	55%	60%	65%	70%
実施状況	48.1%	61.5%	60.2%	48.0%	60.5%
2018年度の具体的な取り組み内容	<p>・施設利用の利便性向上のため、大学側と意見交換を行った。                  ・利用者への訴求力を高めるため、ホームページの写真等の情報を更新するなど広報活動を強化した。                  予約希望日・時間の偏りや、利用者の高齢化により季節的に利用率が低下するため、目標値を達成することはできなかった。今後は、大学側とも調整を進め、より一層利用しやすく稼働率が向上するように再検討する。</p> <p>【団体登録数】                  2014年度 21団体                  2015年度 24団体                  2016年度 24団体                  2017年度 23団体                  2018年度 24団体</p> <p>【団体登録者数】                  2014年度 131名                  2015年度 145名                  2016年度 147名                  2017年度 152名                  2018年度 143名</p>				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-8		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出				
事業名	大学連携推進事業				
取り組み内容	既に連携協力を行っている法政大学・東京家政学院大学以外の市内大学と連携協力し、大学施設を市民が利用できる仕組みを検討・実施する。				
事業目標	指標	市と連携協力している 大学数	計画初期値	2大学	
			目標水準	増加	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→	協定締結 実施	→	→
実施状況	検討	検討	検討	検討	検討
2018年度の具体的な取り組み内容	<p>制度設計に至らず、事業が先送りとなった。                  次期計画策定に向け、連携・協力のあり方についてヒアリング調査を行った。</p> <p>※大学施設の利用状況は、既に大学の活動で空きがない状況にあり、大学施設(ハード面)の利用の拡大が難しいため、人材活用等のソフト面連携の方法も含めて連携・協力を検討する必要がある。</p>				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-9		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】まちだ地域スポーツクラブモデル事業の推進					
事業名	地域スポーツクラブ設立・運営推進事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内小・中学校を拠点に、学校開放制度を運営している学校開放運営委員会、及び制度を利用している各利用団体を中心に地域スポーツクラブ設立を働きかける。</li> <li>クラブの設立及び運営に向けて、クラブハウス管理運営委託及び地域スポーツクラブ事業運営補助を実施する。</li> </ul>					
事業目標	指標	地域スポーツクラブ整備数	計画初期値	4団体		
			目標水準	20団体		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	新規3団体 (計7団体)	新規2団体 (計9団体)	新規3団体 (計12団体)	新規4団体 (計16団体)	新規4団体 (計20団体)	
実施状況	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	1団体 (計5団体)	2団体 (計7団体)	1団体 (計8団体)	0団体 (計8団体)	1団体 (計9団体)	
2018年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>七国山小学校開放運営委員会を中心とした、地域スポーツクラブが2018年4月に設立した。</li> <li>2017年度に引き続き、地域スポーツクラブ2団体にクラブハウス管理を委託した。七国山小クラブハウスの維持・管理運営については、新たに設立した地域スポーツクラブが管理運営を行っている。</li> </ul>					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-10		実施主体	スポーツ推進委員		
推進施策	【重点施策】「まちだニュースポーツ」の推進					
事業名	まちだニュースポーツ推進事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュースポーツの研究及び市内におけるニュースポーツ活動の状況を把握する。</li> <li>推進する種目の選定及び事業の実施を行う。</li> </ul>					
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	企画・検討	→	実施	→	→	
実施状況	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	検討	企画・検討	実施	実施	実施	
2018年度の具体的な取り組み内容	<p>今年度は「ポッチャ」に関しての需要が高まったことがあり、市内小学校4校で講習を実施した。また、「ドッチビーをしよう！」というタイトルで、親子参加型の体験会を南第二小学校で行った。高齢者支援センターへのポッチャ貸し出しも行いました。</p> <p>今後もニュースポーツの需要把握に努めていく。</p>					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-11		実施主体	児童青少年課(ひなた村)	
推進施策	【重点施策】「まちだニュースポーツ」の推進				
事業名	キンボールスポーツ事業				
取り組み内容	年間通じ、ひなた村で教室を前期、後期それぞれ8回、また教室のフォローアップとして10回、1時間ずつ、水曜日に実施している。 また、ひなた村のプログラムサービス事業として、地域の学校の学年行事として、またPTAや子ども会からの要請で、学校の体育館を利用し、年間約10校にてキンボール事業を実施しており、事業の拡充を検討する。				
事業目標	指標	プログラムサービス事業実施校		計画初期値	10校
				目標水準	15校
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度
	11校	12校	13校	14校	15校
実施状況	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度
	10校	14校	14校	17校	13校
2018年度の具体的な取り組み内容	プログラムサービス事業として13回実施した。また今年度から高校生、大学生が小・中学生に指導できる体制を作った。さらにまちとも委員向けに講習、体験会を実施して広報した。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-12		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	大学との協定の締結				
事業名	スポーツに関わる人材育成連携事業				
取り組み内容	大学のゼミや講義と連携した、下記各種取り組みを行う。 ・地域スポーツクラブ等で開催されるスポーツ教室において、指導を通じた地域貢献を行う。 ・市内外スポーツイベントへボランティアとして積極的に参加できるシステムを構築する。				
事業目標	指標	市の事業と連携する大学数		計画初期値	—
				目標水準	3大学
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度
	制度設計・調整			新規1大学 (計1大学)	新規1大学 (計2大学)
実施状況	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度
	検討		検討	新規2大学 (計2大学)	新規1大学 (計3大学)
2018年度の具体的な取り組み内容	・NPO法人スポーツ塾J.VICとの協働で、日本体育大学の教員が講師となり、中高齢者の女性対象及び未就学児とその親対象の健康体操教室を実施した。 ・NPO法人法政クラブとの協働で、法政大学の教員が講師となり、中高齢者の女性対象の健康体操教室を実施した。 ・大原医療秘書公務員専門学校と連携し、学生が市主催のスポーツイベント(市民体力テスト、こどもマラソン大会)に参加した。 ※大原医療秘書公務員専門学校との連携も、指標の連携大学数に計上。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-13		実施主体	町田市体育協会		
推進施策	スポーツ指導員の充実					
事業名	スポーツ指導員登録制度事業					
取り組み内容	スポーツ指導員の登録制度を確立し、市内の団体、部活動等の学校における活動、地域スポーツクラブ及び地域活動へ指導員を紹介する。					
事業目標	指標	登録制度の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			検討	実施		
実施状況	検討	検討	検討	未実施	未実施	
2018年度の具体的な取り組み内容	制度設計に至らず、事業が先送りとなった。 ※スポーツ指導員登録制度・育成・活用等について、需要の調査や他の自治体の取り組み状況や効果等を時間をかけて検証していく必要があるため。					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-14		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	スポーツ指導員の充実					
事業名	〔再掲〕スポーツ指導員育成事業					
取り組み内容	官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。					
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			検討	実施		
実施状況	検討	検討	検討	未実施	未実施	
2018年度の具体的な取り組み内容	制度設計に至らず、事業が先送りとなった。 ※スポーツ指導員登録制度・育成・活用等について、需要の調査や他の自治体の取り組み状況や効果等を時間をかけて検証していく必要があるため。					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-15		実施主体	スポーツ振興課 オリンピック・パラリンピック等 国際大会推進課	
推進施策	ボランティアスタッフが活躍できる仕組みづくり				
事業名	スポーツボランティア活性化事業				
取り組み内容	スポーツ祭東京2013でボランティアスタッフとして活躍した「まちだサポーターズ」を引き続き、組織・運営し、研修や市内外のスポーツイベントへの参加を通じて行政とともにスポーツを「支える」意識を高める。				
事業目標	指標	「まちだサポーターズ」 年間延べ活動人数	計画初期値	—	
			目標水準	1,200人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	600人	750人	900人	1,050人	1,200人
実施状況	2,000人	2,500人	2,300人	2,788人	2,947人
2018年度の具体的な取り組み内容	主に、市内で開催されるスポーツイベント(指定管理者事業・スポーツ推進委員事業・市主催事業等)や、ホームタウンチームホームゲーム活動等に対応した。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (3) 既存スポーツ施設の有効活用

番号	2-16		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用				
事業名	屋外スポーツ施設維持管理事業				
取り組み内容	・屋外スポーツ施設の維持管理計画を策定する。 ・計画に基づき、維持管理・修繕を進める。				
事業目標	指標	計画に基づく施設整備・修繕の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→	維持管理 計画策定	施設維持 ・修繕	→
実施状況	検討	一部修繕	一部修繕 ・検討	一部修繕 ・検討	一部修繕・ 検討
2018年度の具体的な取り組み内容	・2016年度に野球場の芝生張替えや成瀬クリーンセンターテニスコートの砂入人工芝整備を行ったため、2018年度は軽微な修繕を実施した。 ・施設維持管理については、財政状況に大きく左右されることが多く、計画策定の検討には至っていない。				

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (3) 既存スポーツ施設の有効活用

番号	2-17		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用					
事業名	スポーツ広場の再編成・整備事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ広場の施設整備方針に基づく整備を行う。</li> <li>・施設案内予約システム及び使用料の有料化を導入する。</li> <li>・民間活力による(PFI等)手法の導入等、効率的な整備推進を検討する。</li> <li>・地域スポーツクラブ設立や指定管理者等による新たな管理運営の視点を検討する。</li> </ul>					
事業目標	指標	スポーツ広場の施設整備及び管理運営の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	方針決定	計画策定	利用団体との調整	設計	整備工事	
実施状況	決定	方針決定	1件着手	実施設計工事	工事供用開始	
2018年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年11月に緑ヶ丘グラウンドの供用を開始し、地域スポーツクラブも含めた共同事業体による指定管理者に管理運営を担っていただくこととなった。</li> <li>次期計画では、スポーツをする場の環境整備事業として継続して取り組む。</li> </ul>					

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり  
 (3) 既存スポーツ施設の有効活用

番号	2-18		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用					
事業名	利用種目の見直し					
取り組み内容	寄せられた要望を研究し、多くの市民にとって利用しやすい運用を検討する。利用可能種目を見直し、施設案内予約システムの仕様を変更する。					
事業目標	指標	利用種目の見直しの実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	検討				実施	
実施状況	検討	検討	検討	検討	検討	
2018年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予約システムの更改に際し、関係各所と連携を図り、システムの仕様を変更した。</li> <li>・空き施設の有効活用の観点から、ニュースポーツを含め、様々な種目について、利用可能種目の追加について検討した。</li> <li>・公園緑地課を含む関係部署と協議し、施設案内予約システムの利用可能種目についての課題を共有した。</li> </ul>					

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(1) 交流の活性化

番号	3-1		実施主体	スポーツ振興課			
推進施策	ホームタウンチームの社会貢献活動やイベントへの参加拡充						
事業名	ホームタウン活動マッチング事業						
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域祭事や地域貢献活動に関わる自治会町内会などの地域団体に対して、ホームタウンチームに関する情報を発信し、連携・交流の機会のマッチングを行う。</li> <li>・市主催事業などについて、庁内で横断的な連絡・調整を図り、ホームタウンチームが地域に浸透する機会を創出する。</li> <li>・ホームタウンチームのホームタウン活動について、広報の支援を行う。</li> </ul>						
事業目標	指標	地域祭事、地域貢献活動、市主催事業等へのホームタウンチームの参加回数	計画初期値	70回			
			目標水準	140回			
実施計画			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	80回	90回	100回	120回	140回		
実施状況	139回	145回	222回	144回	242回		
2018年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市主催事業の積極的な情報提供と、ホームタウンチームと庁内他部署との連絡・調整をしたことにより、ホームタウンチームを地域にPRする場を創出した。2017年度から継続して、ホームタウンチームが教育現場に進出できる機会を創出した。</li> <li>・キャノンイーグルスは今季町田市で1試合ゲームを開催し、チームとして初めての試みとなる小学生招待や市民招待等の企画を行った。</li> </ul>						

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(1) 交流の活性化

番号	3-2		実施主体	スポーツ振興課			
推進施策	市内小・中学校との連携促進						
事業名	ホームタウンチームスポーツ普及啓発事業						
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の保育園・幼稚園、小・中学校、高校、地域団体等を対象に、ホームタウンチームの主催する出前スポーツ教室とマッチング等を行い、支援する。</li> <li>・出前スポーツ教室の内容を拡充し、単なる競技だけでなく、スポーツ栄養学や職場体験、職業講座などの新たな取り組みも支援していく。</li> </ul>						
事業目標	指標	ホームタウンチームによる出前スポーツ教室等の延べ実施回数	計画初期値	54回			
			目標水準	150回			
実施計画			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	60回	80回	100回	120回	150回		
実施状況	59回	83回	115回	167回	163回		
2018年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都市長会の助成金を活用して、FC町田ゼルビア傘下のNPO法人アスレティッククラブ町田とASVペスカドーラ町田が出前形式のスポーツクリニックを実施した。</li> <li>・今年度からキャノンイーグルスが施設見学型のラグビー体験会を実施し市内小学校の3校が体験した。</li> <li>・ホームタウンチームがそれぞれに普及啓発の取り組みを実施し、今年度は計163回を実施することができた。</li> </ul>						

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(2) 運営支援

番号	3-3		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	スポーツイベントの集客増に向けた連携強化				
事業名	ホームゲーム開催周知連携事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームタウンチームと町内会・自治会や商店街、学校等をマッチングし、ホームゲームの開催周知や観戦招待などの取り組みを支援する。</li> <li>ホームタウンチームや、その運営を支えるボランティアが行う街頭周知活動等の取り組みについて、周知機会の提供やマッチング等により支援する。</li> </ul>				
事業目標	指標	ホームタウンチームホームゲームの年間観戦者数		計画初期値	69,503人
				目標水準	17万人
実施計画			2014年度	2015年度	2016年度
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施状況	8万人	10万人	12万人	14万人	17万人
実施状況	70,345人	107,585人	131,181人	99,377人	130,855人
2018年度の具体的な取り組み内容	<p>○FC町田ゼルビア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>J2リーグ開幕戦に合わせて、FC町田ゼルビア応援ウィークを初開催し、市職員によるユニフォームデーや町田駅前ポスタージャック等を行った結果、開幕戦の観客動員数が8,124人となった。</li> <li>今シーズンは天候に恵まれない日もあったが、通年で町内会自治会への告知や市内小中学校の児童・生徒へのPR活動に努め、年間観戦者数108,804人となった。</li> </ul> <p>○ASVペスカドーラ町田</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内小中学校の児童・生徒を対象に、ホームゲームの割引券付広告を配布し、観客数増加を支援し、リーグ公式戦の計11試合の観客動員数が19,940人となった。</li> </ul> <p>○キャンノンイーグルス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内小学生200人を対象に観戦招待、市民20名を対象に観戦招待を行い、観客数動員を図った。ジャパンラグビートップリーグカップ1試合を開催し、4,824人を動員した。</li> </ul>				

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(2) 運営支援

番号	3-4		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	スポーツイベントの集客増に向けた連携強化				
事業名	ホームゲーム観戦・参加環境充実化支援事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームゲームの運営体制を支えるボランティア活動の支援をするとともに、まちだサポーターズとも連携した取り組みを行う。</li> <li>ホームゲームの会場への交通アクセス等に関する取り組みを支援し、その向上に努める。</li> </ul>				
事業目標	指標	ホームタウンチームのホームゲームにおけるボランティアスタッフの年間延べ活動人数		計画初期値	1,740人
				目標水準	2,500人
実施計画			2014年度	2015年度	2016年度
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施状況	2,100人	2,200人	2,300人	2,400人	2,500人
実施状況	2342人	2382人	2,404人	2,514人	2,908人
2018年度の具体的な取り組み内容	<p>○FC町田ゼルビア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チームがJ2リーグに定着し、1試合約100人の運営ボランティアの参加が維持できている。まちだサポーターズからの参加希望も多い。</li> <li>昨年度に検証した鶴川駅前の直行バスの運行について、2台縦列で停車して同時に乗車することが、効率的な運行につながることを実証されたため、来場者が多数の場合に実施し、バス待機時間の縮減に取り組んだ。</li> </ul> <p>○ASVペスカドーラ町田</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1日複数試合の開催が当たり前になり、ボランティアスタッフの人員確保が難しい場合がある。今後は常時必要な人員の確保、ボランティアリーダーを中心とした自主的な取り組みも必要となる。</li> </ul>				

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働  
(2) 運営支援

番号	3-5		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	試合会場・練習会場の優先確保					
事業名	ホームタウンチーム施設利用支援事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ施設の利用時間枠の見直し等により、全体の利用率を拡大し、ホームタウンチームの利用率も拡大する。</li> <li>・ホームタウンチームの自主的な練習施設確保の取り組みを支援する。</li> <li>・ホームタウンチームがスポーツ施設を利用する際の施設利用料等の負担を軽減させる。</li> </ul>					
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		検討	→ 実施			→
実施状況	検討	一部実施	実施	実施	実施	
2018年度の具体的な取り組み内容	<p>OFC町田ゼルビア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技場の利用について、公園緑地課及び指定管理者と調整し、円滑な運用を継続した。</li> <li>・自主的な練習施設確保の取り組みを支援した。</li> </ul> <p>○ASVペスカドーラ町田</p> <p>安定した練習環境の確保のため、調整を行った。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピックを控え、町田市もキャンプ地招致活動を行っている中で、ホームタウンチームが今後も安定した練習場の確保ができるように調整していく必要がある。</p>					

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働  
(2) 運営支援

番号	3-6		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	サポーターの拡大					
事業名	ホームタウンチーム相互連携事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に拠点を置く3つのホームタウンチームで連絡・調整を図る「連絡会(仮称)」を開催し、相互に連携できる環境を整える。</li> <li>・市内に拠点を置く3つのホームタウンチームの連携した取り組みを支援する。</li> </ul>					
事業目標	指標	3つのホームタウンチーム 合同による連携活動の取 組み数	計画初期値	—		
			目標水準	3回		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		連絡会の開催	1回	2回	3回	3回
実施状況	協議の場の設定 2クラブによる共 同企画実施	2回	3回	3回	3回	
2018年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎内のオープンスペースで、ホームゲーム開催に合わせてキャノンイーグルス展を開催し、来庁者に日本ラグビートップリーグの開催とキャノンイーグルスのPRを行った。</li> <li>・ASVペスカドーラ町田とFC町田ゼルビアが連携し、FC町田ゼルビアのホーム最終戦で、講演会に入会した方に対してASVペスカドーラ町田のホームゲーム招待券を渡し、互いのファン・サポーターの獲得に向けた取り組みを行った。</li> <li>・FC町田ゼルビア、ASVペスカドーラ町田が連携し、それぞれのポスターを共有して新規で掲出できる場所の開拓に取り組んだ。</li> </ul>					

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(3) 広報・告知活動の充実

番号	3-7		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】スポーツを通じたシティセールスの推進				
事業名	ホームスタジアムホスピタリティ向上事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームスタジアム及びその周辺、交通経路において、ホームタウンチームのチームカラーを生かした広報物の設置等を行うとともに、町田市におけるスポーツの盛り上がりや魅力を発信する。</li> <li>ホームゲーム開催時のホームスタジアムにおいて、町田市の魅力を発信するコンテンツを充実させる。</li> </ul>				
事業目標	指標	ホームゲーム開催時のホームスタジアムにおける町田市の魅力発信活動	計画初期値	JFL全試合実施	
			目標水準	他リーグへ拡充・コンテンツ充実	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	事業内容設計	実施			
実施状況	事業内容検討一部実施	実施	実施	実施	実施
2018年度の具体的な取り組み内容	<p>○FC町田ゼルビア          ・J2リーグ開幕戦に合わせて、FC町田ゼルビア応援ウィークを開催し、市職員によるユニフォームデーや町田駅前ポスタージャック等のPRを行った。</p> <p>○ASVペスカドーラ町田          JR成瀬駅及び市立総合体育館周辺のタペストリー交換や、町田駅ペDESTリアンデッキの横断幕を交換した。</p> <p>○キャノンイーグルス          町田でのゲーム開催に合わせて、町田駅ペDESTリアンデッキの横断幕ジャックを行った。</p>				

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり  
 (1) 競技スポーツの場の整備

番号	4-1		実施主体	スポーツ振興課 企画政策課 町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部		
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致					
事業名	2019年ラグビーワールドカップ及び 2020年東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加国や関係各所への招致活動を行う。</li> <li>・選手やスタッフの宿泊場所を確保するため、関係団体と調整を行う。</li> <li>・市を挙げて「スポーツのまち・町田」をアピールする、機運の醸成を行う。</li> </ul>					
事業目標	指標	東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致・ラグビーワールドカップ2019キャンプ地招致		計画初期値	—	
				目標水準	招致	
実施計画	招致活動	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施状況	招致活動	招致活動	招致活動	招致活動	4ヶ国	
2018年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ラグビーワールドカップ2019</li> <li>・ナミビア代表の公認チームキャンプ地に決定</li> <li>◆東京オリンピック・パラリンピック競技大会</li> <li>・インドネシア/中国/南アフリカの事前キャンプ地に決定</li> </ul>					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり  
 (1) 競技スポーツの場の整備

番号	4-2		実施主体	スポーツ振興課 企画政策課		
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致					
事業名	全国大会等誘致事業					
取り組み内容	各種の全国大会等の公式試合を町田市で開催してもらえるように大会主催者やクラブチームに対して誘致活動を行う。 ・バドミントン日本リーグ・NBL(ナショナルバスケットボールリーグ(日本))・bjリーグ(日本プロバスケットボールリーグ)・全国高校サッカー選手権大会等					
事業目標	指標	大会開催		計画初期値	—	
				目標水準	大会開催	
実施計画	誘致活動 大会開催	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施状況	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	
2018年度の具体的な取り組み内容	パラバドミントン国際大会を国内で初開催したほか、昨年に引き続き、関東パラ陸上大会、全国車椅子バスケットボール大学選手権大会等を開催し、キャンプ地招致に向けて各団体との関係性を構築した。					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり  
 (1) 競技スポーツの場の整備

番号	4-3		実施主体	スポーツ振興課 企画政策課		
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致					
事業名	ジャパンラグビートップリーグ大会誘致事業					
取り組み内容	ラグビートップリーグで活躍するキャノンイーグルスの試合を陸上競技場で開催してもらえるようにキャノンイーグルス及び日本ラグビーフットボール協会に対して誘致活動を行う。					
事業目標	指標	大会開催		計画初期値	—	
		2014年度	2015年度	目標水準	大会開催	
実施計画	誘致活動 大会開催	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	
実施状況	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	
2018年度の具体的な取り組み内容	誘致活動を行い、8月、11月の2日間で3試合の大会開催を行った。					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり  
 (1) 競技スポーツの場の整備

番号	4-4		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	スポーツ施設の有効活用策の検討					
事業名	競技スポーツの場の整備					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合体育館の得点表示板の更新を行う。</li> <li>総合体育館に大型バス乗降場を整備する。</li> <li>室内プール(50mプール)のコースロープを一新し、公認を受ける。</li> <li>室内プールの電光表示システムを更新する。</li> <li>総合体育館に大型映像装置を整備する。</li> <li>陸上競技場に大型映像装置の整備と観客席の増設を行う。</li> </ul>					
事業目標	指標	競技スポーツの場の整備		計画初期値	—	
		2014年度	2015年度	目標水準	整備	
実施計画	総合体育館得点表示板更新・室内プール50mコースロープ購入・公認手続き	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	
			総合体育館大型バス乗降場整備の検討	総合体育館大型バス乗降場整備設計、総合体育館・陸上競技場大型映像装置設置検討、陸上競技場観客席増設設計、室内プール電光表示システム更新	総合体育館大型バス乗降場整備工事、総合体育館・陸上競技場大型映像装置設置設計、陸上競技場観客席増設設計	総合体育館大型バス乗降場整備工事、総合体育館・陸上競技場大型映像装置設置工事、陸上競技場観客席増設工事
実施状況	実施	実施	検討	実施 検討	実施 検討	
2018年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合体育館大型バス乗降場整備を着手・施行した。</li> <li>陸上競技場大型映像装置の整備を行った。</li> <li>陸上競技場観客席増設について実施設計を行った。</li> <li>総合体育館大型映像装置設置に着手した。</li> </ul>					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり  
 (2) 競技スポーツの連携強化

番号	4-5		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	スポーツ団体との情報の共有化					
事業名	体育協会等との情報共有の強化					
取り組み内容	・各施設指定管理者及び体育協会と連携し、次年度の施設利用優先受付業務を行う。 ・体育協会との打合せを定期的に行い、加盟団体からの要望・意見を収集する。加盟団体からの要望は、公園緑地課や指定管理者と協議の上で対応を決定する。					
事業目標	指標	体育協会との業務連携	計画初期値	実施		
			目標水準	強化		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			優先受付取扱基準の見直し の検討、各団体からの 要望への対応検討・実施	施設利用優先 受付業務の実 施・改善		
実施状況	優先受付業務 実施・見 直し検討	施設利用優先 受付業務の実 施・改善	施設利用優先 受付業務の実 施・改善	施設利用優先 受付業務の実 施・見直	施設利用優先 受付業務の実 施・見直	
2018年度の 具体的な 取り組み内 容	・町田市体育協会事務局との打合せを定期的に行い、情報共有・連絡を密に行った。 ・スポーツ施設優先受付業務を実施し、施設利用に関する現状の問題点の共有及び課題の抽出を行い、来年度の事業実施に活用する。					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり  
 (2) 競技スポーツの連携強化

番号	4-6		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	ボランティアスタッフが活躍できる仕組みづくり[再掲]					
事業名	[再掲]スポーツボランティア活性化事業					
取り組み内容	スポーツ祭東京2013でボランティアスタッフとして活躍した「まちだサポーターズ」を引き続き、組織・運営し、研修や市内外のスポーツイベントへの参加を通じて行政とともにスポーツを「支える」意識を高める。					
事業目標	指標	「まちだサポーターズ」 年間延べ活動人数	計画初期値	—		
			目標水準	1,200人		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			600人	750人	900人	1,050人
実施状況	2,000人	2,500人	2,300人	2,788人	2,947人	
2018年度の 具体的な 取り組み内 容	主に、市内で開催されるスポーツイベント(指定管理者事業・スポーツ推進委員事業・市主催事業等)や、ホームタウンチームホームゲーム活動等に対応した。					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり  
 (2) 競技スポーツの連携強化

番号	4-7		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	大学との協定の締結[再掲]					
事業名	[再掲]スポーツに関わる人材育成連携事業					
取り組み内容	大学のゼミや講義と連携した、下記各種取り組みを行う。 ・地域スポーツクラブ等で開催されるスポーツ教室において、指導を通じた地域貢献を行う。 ・市内外スポーツイベントへボランティアとして積極的に参加できるシステムを構築する。					
事業目標	指標	市の事業と連携する大学数	計画初期値	—		
			目標水準	3大学		
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	制度設計・調整		→	新規1大学 (計1大学)	新規1大学 (計2大学)	新規1大学 (計3大学)
実施状況	検討	検討	新規2大学 (計2大学)	新規1大学 (計3大学)	3大学	
2018年度の具体的な取り組み内容	・NPO法人スポーツ塾J.VICとの協働で、日本体育大学の教員が講師となり、中高齢者の女性対象及び未就学児とその親対象の健康体操教室を実施した。 ・NPO法人法政クラブとの協働で、法政大学の教員が講師となり、中高齢者の女性対象の健康体操教室を実施した。 ・大原医療秘書公務員専門学校と連携し、学生が市主催のスポーツイベント(市民体カテスト、こどもマラソン大会)に参加した。 ※大原医療秘書公務員専門学校との連携も、指標の連携大学数に計上。					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり  
 (3) 障がい者スポーツの活性化

番号	4-8		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	障がい者の競技スポーツ大会への場の提供					
事業名	障がい者の競技スポーツ大会誘致					
取り組み内容	障がい者スポーツの中でも、比較的認知度の高い車椅子バスケットボールの大会など障がい者の競技スポーツ大会を積極的に誘致し、継続的な開催を目指す。					
事業目標	指標	障がい者の競技スポーツ大会開催数	計画初期値	1大会		
			目標水準	2大会		
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	2大会					→
実施状況	2大会	2大会	3大会	3大会	4大会	
2018年度の具体的な取り組み内容	・7月上旬 関東パラ陸上選手権大会 ・8月中旬 全国車椅子バスケットボール大学選手権大会 ・9月下旬 パラバドミントン国際大会 ・11月上旬 ブラインドサッカー国際親善試合					

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(4) 顕彰制度、奨励制度等の活性化

番号	4-9		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】トップアスリートとの交流の活性化				
事業名	トップアスリートと市民のつながり創出事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「スポーツアワードまちだ」受賞者を中心とするトップアスリートの市内スポーツイベントへの積極的な出演を促進する。</li> <li>・小学生、働く世代、高齢者等、世代ごとのミニ「スポーツアワードまちだ」を開催する。</li> <li>・ホームページ、SNS、紙媒体などの積極的活用や新聞、テレビなどのマス媒体への積極的なPRを行うことで、トップアスリートとの交流機会の周知を強化し、市民の参加を促進する。</li> </ul>				
事業目標	指標	トップアスリートとの交流機会の回数	計画初期値	年1回	
			目標水準	年3回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回	→	年2回	→	年3回
実施状況	企画	年2回	年3回	年3回	年3回
2018年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3/9に「第9回スポーツアワードまちだ」表彰式を市庁舎で開催予定。</li> <li>・ASVベスカドーラ町田が総合健康づくりフェアに出展し、チームトレーナーが来場者にトレーニング方法を指導した。</li> <li>・第46回こどもマラソン大会で、大迫傑選手、関根花観選手の応援メッセージビデオを大型映像装置を使って複数回放映した。</li> </ul>				

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(4) 顕彰制度、奨励制度等の活性化

番号	4-10		実施主体	指定管理者 町田市体育協会	
推進施策	【重点施策】トップアスリートとの交流の活性化				
事業名	指定管理者によるトップアスリートとの交流イベント実施事業				
取り組み内容	競技団体やホームタウンチームと連携し、トップアスリートが出演、参加するイベントを実施する。				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	イベント実施				→
実施状況	実施	実施	実施	実施	実施
2018年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合体育館 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ASVベスカドーラ町田」によるプロの選手に直接指導していただける親子キッズサッカー教室などのほか、「まちだ★こどもフェスタ」「チャレンジマッスル2018」においてパフォーマンスを実施した。また、「トライ・スポーツ！まちだ2019」において各競技トップアスリートによる体験教室を実施した。</li> </ul> </li> <li>○室内プール <ul style="list-style-type: none"> <li>・カヌー選手による「プールdeカヌー（カヌー無料体験）」を実施した。（参加人数38名）</li> </ul> </li> <li>○サン町田旭体育館 <ul style="list-style-type: none"> <li>・N「タッチラグビー」トップ選手、「バトントワーリング」トップ選手を指導者として迎え、子供を対象としたスクールを実施した。（延参加者数1,085名）</li> </ul> </li> <li>○野津田公園 <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技場をメイン会場とした複合イベント「グリーンフィールドオータムフェスティバル with フォルクスワーゲン東京町田」では、FC町田ゼルビアとキャノンイーグルの現役Jリーガー、トップリーガーと交流する「サッカー、ラグビー体験イベント」を実施した。</li> </ul> </li> </ul>				

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり  
 (4) 顕彰制度、奨励制度等の活性化

番号	4-11		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	顕彰制度、奨励制度の充実				
事業名	表敬訪問事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なスポーツをする市民が広く表敬訪問を知り、訪問できるよう、今後の受け入れ方法・周知方法を検討する。</li> <li>・出場前であれば、表敬訪問により大会に向けて士気を高めることができ、また、その競技や大会の注目度を上げ広く市民から応援を得ることができるような表敬訪問のあり方を検討する。</li> <li>・出場後であれば、功績を称え今後の意欲につながるような表敬訪問のあり方を検討する。</li> </ul>				
事業目標	指標	表敬訪問実施数	計画初期値	25回	
			目標水準	35回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
		25回	30回		35回
実施状況	17回	14回	25回	30回	11回
2018年度の具体的な取り組み内容	表敬訪問の受け入れ基準を作成し、周知方法について検討を行った。				

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり  
 (4) 顕彰制度、奨励制度等の活性化

番号	4-12		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	顕彰制度、奨励制度の充実				
事業名	全国大会等出場者祝金支給事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祝金支給要綱にもとづき、市民への祝金を支給する。</li> <li>・スポーツの多様化にともない、様々なスポーツの大会に出場する市民に広く支給できるよう、支給要綱を見直す。</li> <li>・より制度を広く市民に知ってもらうために、更なる周知方法を検討する。</li> </ul>				
事業目標	指標	祝金支給件数	計画初期値	85件	
			目標水準	150件	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
		85件	120件	130件	140件
実施状況	92件	85件	88件	93件	70件
2018年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国大会等出場者祝金支給要綱にもとづき、市民への祝金を支給した。</li> <li>・表敬訪問等の機会を利用し、申請可能性のある方への周知を行った。</li> </ul>				

施策5：スポーツのまちづくり  
 (1) スポーツ・ツーリズムの推進

番号	5-1		実施主体	一般社団法人町田市観光コンベンション協会 産業観光課 観光まちづくり課		
推進施策	スポーツ・ツーリズムの連携促進					
事業名	スポーツ・ツーリズム実施事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームタウンチーム応援ツアーの企画</li> <li>旅行代理店へのPR</li> <li>スポーツイベント等における観光PR</li> </ul>					
事業目標	指標	ツアー実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			企画・実施			
実施状況	実施	実施	未実施	未実施	未実施	
2018年度の具体的な取り組み内容	旅行代理店へのPRを行い、旅行代理店主催によるツアー実施を目指したが、実施には至らなかった。スポーツイベント等(大相撲町田場所、パラバドミントン国際大会2018、魅力発見! 全国ご当地マラソン2019等)で、選手、大会関係者、観客等へ町田市の観光スポット紹介や近隣の飲食店の案内を行った。					

施策5：スポーツのまちづくり  
 (2) 公園等におけるスポーツ施設の充実

番号	5-2		実施主体	公園緑地課		
推進施策	【重点施策】野津田公園におけるスポーツ施設整備					
事業名	第二次野津田公園整備基本計画推進事業					
取り組み内容	第二次野津田公園整備基本計画に基づき、スポーツ施設の整備を進める。当面は、2020年東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地招致を目指し、既存の陸上競技場と併せて必要な人工芝の多目的グラウンドの整備と、施設稼働率が85%を超え、人気の高いテニスコートの整備を進める。					
事業目標	指標	野津田公園内におけるスポーツ施設整備箇所数	計画初期値	—		
			目標水準	2箇所		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			用地測量	都市計画決定 用地買収	基本設計 実施設計	整備
実施状況	用地測量	用地取得交渉	用地取得交渉	一部用地取得完了、一部基本設計完了	一部用地取得完了、実施設計完了	
2018年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>地権者と用地交渉を進め、拡張区域の一部の用地を取得しました。</li> <li>拡張区域の自然環境調査及び地質調査を行い完了しました。</li> <li>多目的グラウンド及びテニスコート等の実施設計を行い、工作物の申請業務を残し、概ね完了しました。</li> </ul>					

施策5：スポーツのまちづくり  
 (3) 広域スポーツのブランド化

番号	5-3		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	市民マラソン等の活性化					
事業名	武相マラソン大会支援事業					
取り組み内容	広報、ホームページ、その他メディア等を通じて、武相マラソン大会に関する情報発信・PRを強化する。					
事業目標	指標	参加者数	計画初期値	2,000人		
			目標水準	3,000人		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		2,500人	→ 2,750人	→ 3,000人		
実施状況	1,700人	1,860人	1,840人	2,286人	1,800人	
2018年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報まちだやホームページを通じ、町田市全域に大会開催に関する情報発信を行った。</li> <li>・市の施設で大会開催要項を配布し、参加者募集の周知を行った。</li> </ul>					

施策5：スポーツのまちづくり  
 (4) 公共スポーツ施設のユニバーサルデザイン化

番号	5-4		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	ユニバーサルデザインの推進					
事業名	既存スポーツ施設のバリアフリー改修					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ改修工事</li> <li>・サイン改修工事</li> <li>・障がい者の競技スポーツ大会開催のための施設整備</li> <li>・利用者の要望を取り入れた小規模なバリアフリー改修工事</li> </ul>					
事業目標	指標	改修工事实施施設数	計画初期値	—		
			目標水準	3施設		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		改修計画の検討、営繕課との調整	学校温水プール、木曾中管理事務所のサイン改修実施	営繕課の修繕計画に合わせてトイレ・サイン工事実施 小規模バリアフリー改修		
実施状況	検討・一部実施	検討	検討	1件工事 1件設計	1件工事	
2018年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公園緑地課所管施設のトイレの洋便器化を実施した。</li> <li>・藤の台球場・忠生公園(ソフトボール場)</li> <li>・鶴川中央公園(鶴川球場、テニスコート)</li> <li>・町田中央公園2か所(市民球場、テニスコート)</li> <li>・日向山公園(藤の台球場)</li> <li>・山王塚公園(無料の多目的広場)</li> <li>○室内プール</li> <li>営繕課が主体となり、トイレの洋便器化を含め、施設の大規模改修工事の実施設計を行った。(2018~2019年度工事予定)</li> <li>○学校温水プール</li> <li>屋外に設置してある利用者案内板(サイン表示)を修繕した。</li> </ul>					

施策5：スポーツのまちづくり  
 (5) スポーツ情報発信力の強化

番号	5-5		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化					
事業名	スポーツフォーラム活性化事業					
取り組み内容	・市民がより参加しやすい形でのスポーツフォーラムの開催 ・フォーラム内容のフォローアップをホームページで実施					
事業目標	指標	スポーツフォーラムの見直し		計画初期値	—	
				目標水準	実施	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討		→	見直し 実施		→
実施状況	検討	検討	検討	未実施	未実施	
2018年度の具体的な取り組み内容	制度設計に至らず、事業が先送りとなった。					

施策5：スポーツのまちづくり  
 (5) スポーツ情報発信力の強化

番号	5-6		実施主体	生涯学習センター		
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化					
事業名	生涯学習ポータルサイト構築事業					
取り組み内容	講座・講演会情報、活動団体情報、人材情報などの様々な学習情報を手軽に入手できるホームページ(生涯学習ポータルサイト)を構築する。					
事業目標	指標	生涯学習ポータルサイトの構築		計画初期値	—	
				目標水準	構築・稼動(2015年度)	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	運用ルール の 検討		ポータルサイト の構築・稼 動	運用	検証	運用改善 実施
実施状況	検討	投稿型アプリ の 調査・研究	検討	子育てサイト を使用した 情報発信	検討	
2018年度の具体的な取り組み内容	「まちだ子育てサイト」との連携による情報発信を継続して行った。また、他団体で発信しているホームページなどの情報発信媒体との連携について検討した。					

施策5：スポーツのまちづくり  
 (5) スポーツ情報発信力の強化

番号	5-7		実施主体	生涯学習センター		
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化					
事業名	生涯学習NAVI					
取り組み内容	市内もしくは近隣地域で開催され、市民が参加できる講座・講演会、イベントなどの情報や、市内各地で行われている学習活動の様子などを紹介する情報誌「生涯学習NAVI」を発行する。					
事業目標	指標	生涯学習NAVIの配布施設数		計画初期値	65施設	
				目標水準	100施設	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	65施設					100施設
実施状況	96施設	97施設	97施設	98施設	100施設	
2018年度の具体的な取り組み内容	配布施設数を98施設から100施設に拡大した。また、健康づくりフェアやまちカフェなどの集客力のある市主催イベントに参加し、積極的な配布活動を行った。					

施策5：スポーツのまちづくり  
 (5) スポーツ情報発信力の強化

番号	5-8		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化					
事業名	スポーツ情報発信・広報支援事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームタウンチーム・アスリートの活動情報を町田市ホームページや広報まちだ、市政情報モニター「まちビジョン」、シティセールス(CS)コーナーに掲載する。</li> <li>・ホームタウンチームの広報誌やPRポスターを市内各施設・小中学校、掲示板に配布・掲示する。</li> <li>・情報誌「スポまち キッズ！」をSportsまちだホームタウン協議会と協働し、作成・発行する。</li> <li>・総合体育館情報コーナーの有効活用及び他スポーツ施設の情報コーナーの整備を行う。</li> </ul>					
事業目標	指標	ホームページでのアスリート情報発信件数		計画初期値	134件	
				目標水準	190件	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	150件	160件	170件	180件	190件	
実施状況	128件	35件	20件	16件	11件	
2018年度の具体的な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの掲載内容について検証し、必要な情報を的確に発信できるように検討した。</li> <li>・ホームタウンチームのシーズン開幕・ホームゲーム情報・シーズン結果をホームページに掲載し、各チームの状況をPRした。</li> </ul> <p>[ホームページでのアスリート情報発信数]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページでのアスリート活動情報の掲載:11件</li> <li>・まちビジョンへの掲載:11件</li> <li>・「スポまち キッズ！」の発行:年1回</li> <li>・各公共施設・小中学校・町内会自治会へのホームタウンチームのポスター・チラシの配布:随時</li> </ul>					